

幸福実感都市 『ながの』

～“オールながの”で未来を創造しよう～



みんなで創る みんなの長野市

幸せ実感都市『ながの』
～“オールながの”で未来を創造しよう～

理想とする未来の長野市を具体的にイメージし、本計画の目標となる「まちの将来像」を「幸せ実感都市『ながの』～“オールながの”で未来を創造しよう～」と定めます。

人口減少社会、成熟社会が到来した現在、長野市が持つ強みを活用しながら、抱える課題を可能性に変え「長野市らしい魅力ある」まちとして、歩み続けていくことが必要となっています。

価値観が多様化し行政課題が複雑化していますが、住民の福祉の増進を図るとともに、長野市の多様性ある構成や成り立ち・特性を踏まえた地域づくりを進め、市全体の「幸せ」の総和の拡大をめざしていくことを「幸せ実感都市」と表しています。

また、副題として市民が本市への誇りを胸に未来への希望を実感できるよう、全市を挙げてまちづくりに取り組むことを「“オールながの”で未来を創造しよう」と表現しています。



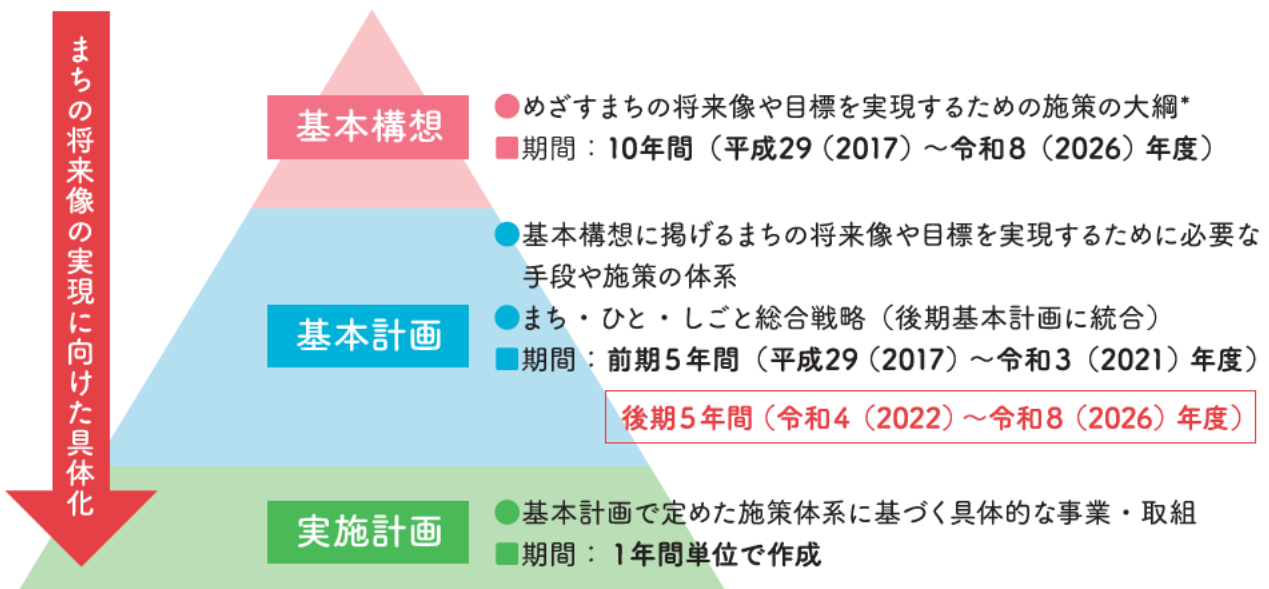


総合計画とは？

総合計画は、長野市民が将来に向けて夢と希望を持てる長野市の将来ビジョンを描き、そこに至る道筋を明らかにする、長野市の最上位計画（最高方針）です。「基本構想」「基本計画」「実施計画」から構成されています。



計画の構成と期間



長野市らしさ ～強みを可能性に～

- 地理的な特性
- 豊かな自然
- 独自の歴史・文化
- 都市としての機能
- 交通の要衝
- オリンピック開催都市としての財産
- 産業の構造
- 市民との協働によるまちづくり



*が付いた用語の解説をp.26～27に掲載しています。

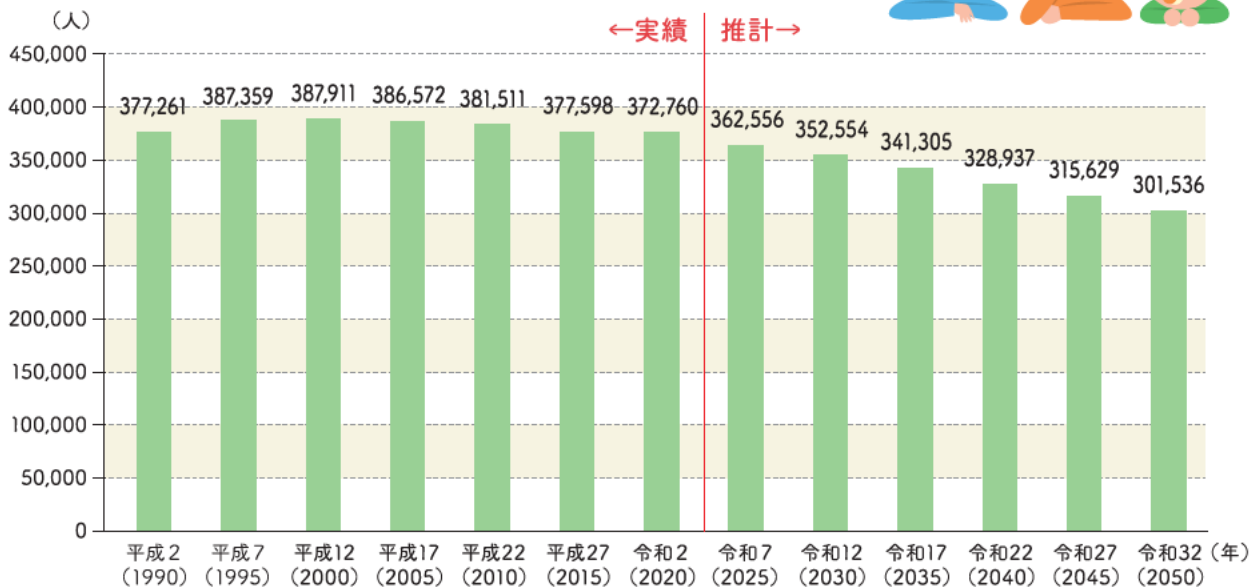
長野市を取り巻く状況

1 人口減少と少子高齢化



長野市の人口は、平成12年をピークに減少に転じており、人口減少・少子高齢化の進行に加え、東京圏*への人口流出を踏まえた取組が求められています。

長野市の総人口



資料：企画課（令和2年までは「国勢調査」、令和7年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」に準拠した推計）

2 安全・安心な社会の実現



東日本大震災や令和元年東日本台風など、激甚化する自然災害や、新型コロナウイルス感染症といった新たな脅威に対する安全・安心な社会の実現が求められています。

3 社会経済情勢の大幅な変化



デジタル技術の急速な進展や経済のグローバル化、少子高齢化、新型コロナウイルスの感染拡大などにより、産業構造や雇用形態、就労形態が大きく変わろうとしています。コロナ禍で困窮する市民や事業者への支援とともに、産業構造の変革やグローバル化への対応、新たな雇用の創出への取組が求められています。

4 持続可能な地域経営



人口減少・少子高齢化により、社会保障関係経費*の増加が見込まれています。さらには高度経済成長期に整備した公共施設の更新時期が集中することから、改修などの経費も必要になり、厳しい財政状況が続くことが予想されます。持続可能な行財政運営をめざし、行政サービスの効率化に取り組みます。

まちの将来像の 実現に向けて

人口減少の推計などが表すように、
時代の転換期を迎えていることから、
今後は従来どおりの考え方、姿勢、
手法では未来を切り開いていくことはできません。
以下の基本的な方針の下に本計画を実行し、
まちの将来像の着実な実現をめざします。

幸せ実 『ながの』

～“オールながの”で

まちづくりの基本方針

まちづくりの基本方針

01

市民の「幸せ」の 実現

- 市民が真の豊かさや幸せを実感し、いきいきと生活できるまち



『感動がの』

未来を創造しよう～

市民が
長野市への
誇りを胸に
未来への希望を
実感

まちづくりの基本方針

02

「持続可能な」 まちづくりの推進

- 足腰の強い財政基盤の確立
- 限りある行政経営資源*の効果的・効率的活用
- 多様な主体によるまちづくりの担い手*との連携
- 直面する環境問題の解決に向けた取組

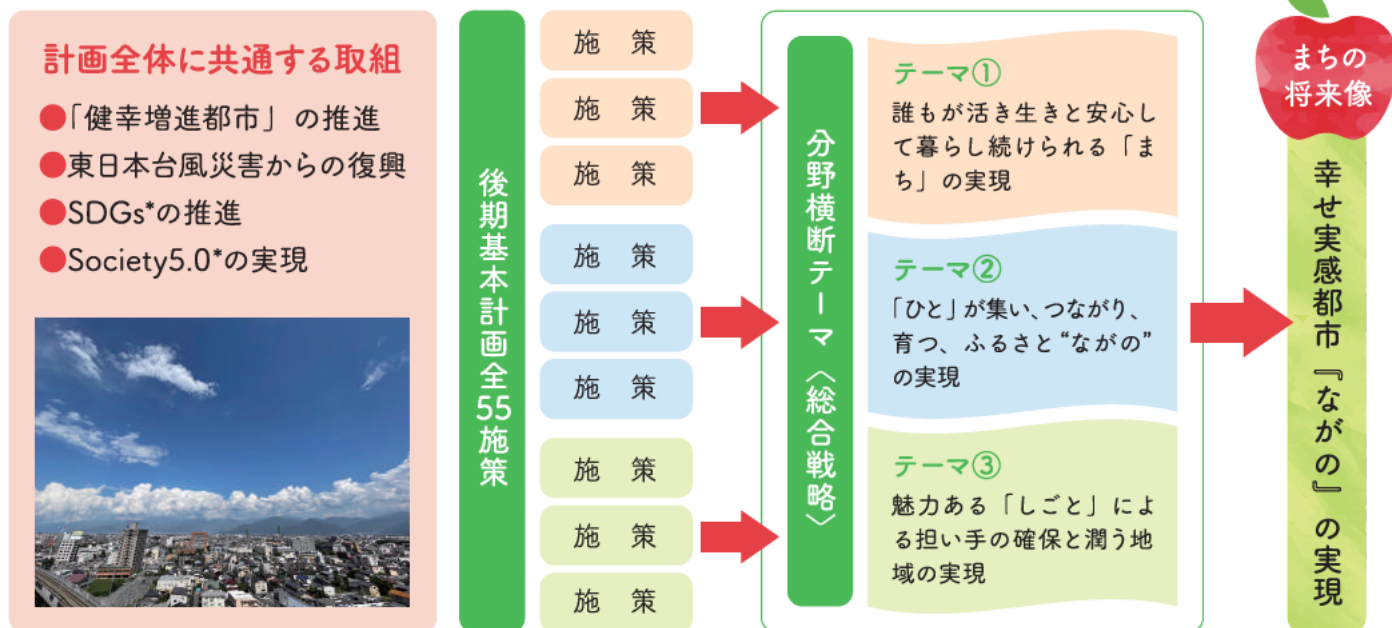
まちづくりの基本方針

03

「長野市らしさ」の発揮と 「まちの活力と魅力」の創出

- 長野市らしさを発揮したまちづくりの戦略的推進
- 長野市特有の地域資源を活用した、まちの活力と魅力の維持・創出

後期基本計画の特徴 ① 〈計画全体に共通する取組〉



後期基本計画の推進にあたっては、健幸増進都市、令和元年東日本台風災害からの復興、SDGs及びSociety5.0が計画全体に共通する取組としてのベースとなり、その上に全55施策を立て、さらに分野横断的に取り組む必要があるテーマを総合戦略とし、取り組んでいきます。

長野市とSDGs | SDGsに対する長野市の考え方

本市は、SDGsの趣旨を理解し、今の市民も、未来の市民も住みよい持続可能なまちづくりに取り組むため、SDGsを推進していきます。

そのため、本市の最上位計画である総合計画にSDGsの視点を取り入れることで、各個別計画や各事業にもSDGsの要素を反映していきます。

また、行政評価にSDGsの視点を取り入れ、事業の見直しの参考とし、持続可能性の高い施策展開、事業構築を図るとともに、SDGsをコミュニケーションツールとして活用し、様々な関係者との連携を促進します。

なお、本市は、令和3（2021）年5月に「SDGs未来都市」に選定されました。今後は、長野市SDGs未来都市計画に基づき、未来を担う若者が積極的に発言できる場を設け、環境共生都市「ながの」の実現に向けて取組を進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



p.12～25に掲載されている各施策に該当するSDGsのゴールを、それぞれのアイコンで表示しています。

後期基本計画の特徴 ② 〈分野横断テーマ〉

後期基本計画策定の背景で示した長野市が取り組むべき課題やチャレンジを踏まえ、分野別施策だけでは解決や実現が困難であり、分野横断的に取り組むことが必要な項目として3つのテーマを定め、「ひと」と「しごと」の好循環により地域社会に活力を生み、持続可能な「まち」をめざします。

この分野横断テーマを人口減少・少子高齢化対策と地域活性化に向けた総合戦略とし、その実現に向け、特に必要となる視点を「テーマ実現のための視点」として整理しています。

人口減少・少子高齢化対策／地域活性化への取組

分野横断テーマ①

誰もが生き生きと安心して暮らし続けられる「まち」の実現
〈住みやすい地域づくり〉

テーマ①
実現のための
視点

- 防災・減災対策の推進
- 暮らしを支える機能の確保
- 健康と心の豊かさの増進
- 地域の課題解決や活性化の推進
- 地域資源の活用・発信
- 先端技術の活用



分野横断テーマ②

「ひと」が集い、つながり、育つ、ふるさと“ながの”の実現
〈移住・定住・交流の促進〉〈少子化対策・子育て支援〉

テーマ②
実現のための
視点

- 地元定着の促進
- 移住・定住の推進
- 関係人口*の創出
- 地域資源を活かした観光の推進
- 広域観光・インバウンド*の推進
- 文化芸術・スポーツの推進
- 少子化対策・子育て支援の推進
- 学びの機会の充実



分野横断テーマ③

魅力ある「しごと」による担い手の確保と潤う地域の実現
〈しごとの創出と確保〉

テーマ③
実現のための
視点

- 産学官金*の連携による成長支援
- 産業集積の推進
- 産業の担い手の育成
- 生産性と付加価値の向上
- 多様な働き方の推進



施策の大綱



1

行政経営の方針

行政経営分野

公共施設の「量」と「質」を計画的に見直すなど、限られた行政経営資源を最適に配分し、最大限に活用するとともに、市民のまちづくりへの積極的な参加と、市政に対する高い市民満足度を実現し、市民が主役の持続可能なまち「ながの」をめざします。

施策1～5 p.12



2

人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」

保健・福祉分野

だれもが健やかで自分らしさを発揮しながら、人がつながり、互いに支え合う中で、いきいきと暮らすことができるまち「ながの」をめざします。

施策6～18 p.13～15

3

環境分野

人と自然が共生するまち「ながの」

市民・地域・事業者・行政などの連携の下、豊かな自然環境を保全し次世代へ継承するとともに、環境への配慮を前提に心地よく暮らすことのできる持続可能な社会を形成し、人と自然が共生するまち「ながの」をめざします。

施策19～22 p.16



4

安全で安心して暮らせるまち「ながの」

防災・安全分野

様々な危険から市民の生命・財産・暮らしを守るため、自助や共助（互助）の市民意識の醸成を図るとともに、関係機関との連携の下、安全確保施策を推進し、安全で安心して暮らせるまち「ながの」をめざします。



施策23~27 p.17~18

5

豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」

教育・文化分野

家庭・地域・学校が連携し、たくましく生きる人材を育成するとともにライフステージに応じた学習機会を提供します。また、文化芸術やスポーツを日常的に楽しむ環境をつくり、多彩な文化を継承・発信し、豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」をめざします。



施策28~38 p.19~21

6

産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」

産業・経済分野

多様化するニーズに対応した持続可能な産業を実現するため、産業間や事業者間の連携を強化し相乗効果を高めるとともに、担い手を育成しながら、地域特性を活かした産業を振興し、多様な就労形態が支える、活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」をめざします。



施策39~49 p.22~24

7

快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」

都市整備分野

地域の特性に応じた都市機能の集約、中山間地域での生活機能の維持、またそれらを拠点とし、互いの機能を補うネットワークを形成するとともに、豊かな自然、歴史・文化を活かした交流とにぎわいのある、快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」をめざします。



施策50~55 p.25

政策 1 市民が主役のまちづくりの推進

施策 1 ▶ 市民とともに作る市政の推進

市政情報を迅速に分かりやすく提供するとともに、多くの市民意見を市政に活用します。



施策 2 ▶ 市民によるまちづくり活動への支援

行政、市民、地域コミュニティ組織、市民公益活動団体、民間企業など多様な主体による協働のまちづくりが、暮らしやすい地域社会につながっていることをめざします。



政策 2 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

施策 3 ▶ 効果的で効率的な行財政運営の推進

安定的な行政サービスが提供される持続可能な財政基盤を構築します。



施策 4 ▶ 市民の満足が得られる市政の推進

デジタル技術等を用い、市民ニーズを踏まえた質の高い行政サービスを提供します。



施策 5 ▶ 地方中核都市*としての役割の遂行

地方公共団体間の連携を有効に活用し、連携する市町村全体が発展することをめざします。



長野市 LINE 公式アカウント 2021 11.1 START!!

あなたに合わせたお役立ち情報をお届けします

★ごみ分別の検索やながのわくわく子育てLINE など、機能を充実！2022年1月には窓口事前申請機能を追加予定！

★お友だち登録後は、受信設定からアンケートに回答してね！
受信設定のアンケートに答えることで、欲しい最新情報をLINEで受け取れる！

ここをクリック！

まずはお友だち登録から
～QRコードからお友だち追加～
LINEアプリの「お友だち追加」→「QRコード」から右のQRコードを撮影してください。

このほかにも SNS やってます。みてね～

【お問い合わせ】 長野市企画政策部広報広聴課 TEL：026-224-5004

保健・福祉分野

政策 1 少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援

施策 6 ▶ 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援

若い世代が結婚や妊娠・出産についての希望をかなえ、子育てに楽しさや喜びを感じながら、温かい社会の中で安心して子どもを育てられることをめざします。



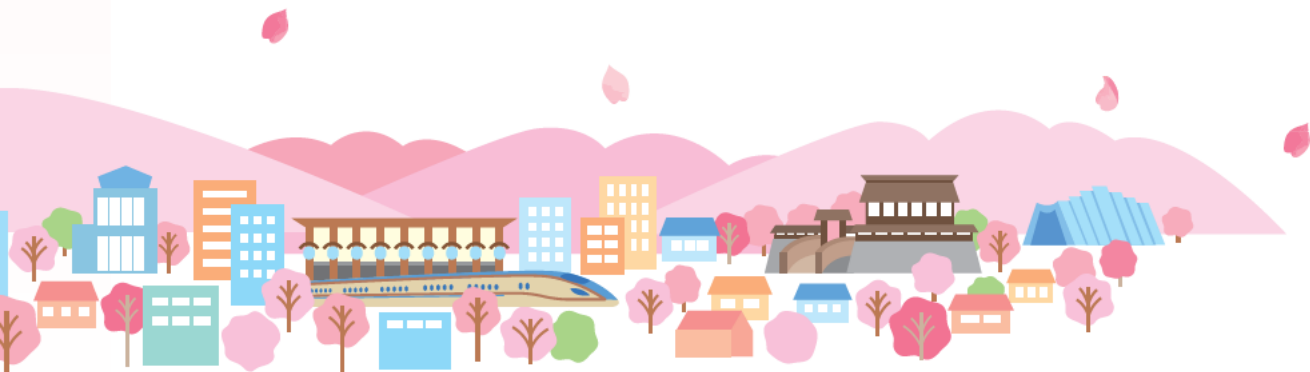
施策 7 ▶ 子どもの成長を育む支援環境の充実

乳幼児期の子どもが、安心感や人への信頼感を土台にして健やかに育ち、その後の発達・成長の基礎となる力を着実に育むことをめざします。



施策 8 ▶ 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援

子育てに関わる保護者等が悩みを抱え込むことなく相談につなげられ、すべての子どもが安定した環境の中、地域に見守られながら、安心して暮らしていくことをめざします。



政策 2 生きがいのある豊かな高齢社会の形成

施策 9 ▶ 高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進

高齢者が自らの経験や能力を活かして積極的に社会に参加し、様々な場面で生きがいを感じながらいきいきと暮らすことをめざします。



施策 10 ▶ 地域包括ケアシステムの深化・推進

高齢者が自ら介護予防・健康維持の取組を実践するとともに、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域の中で、必要な介護を受けながら最期まで自分らしく安心して暮らせることをめざします。



政策 3 だれもが自分らしく暮らせる社会の形成

施策 11 ▶ 障害者（児）福祉の充実

障害の有無によって分け隔てられることなく、だれもが自分らしく安心して暮らせることをめざします。



施策 12 ▶ 認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現

市民一人ひとりが、地域の中で互いに認め合い、支え合い、活かし合いながら、安心して自分らしくいきいきと暮らせることをめざします。



施策 13 ▶ 生活の安定と自立への支援

だれもが幾重にもはりめぐらされたセーフティネットに守られ、その状況に応じて可能な限り自立し、困窮することなく安定した生活を送っていくことをめざします。



政策4 安心して暮らせる健康づくりの推進

施策14▶ 健康の保持・増進の支援

市民一人ひとりが健康の大切さを認識し、生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組み、自分らしく生きがいをもって生活することをめざします。



施策15▶ 保健衛生の充実

感染症の流行に備えた体制が整備され、地域に密着した専門性の高い保健衛生事業の提供により、だれもが健やかで安心・安全に暮らせることをめざします。



施策16▶ 地域医療体制の充実

だれもが必要とする時に、適切な医療サービスを受けられることをめざします。



政策5 人権を尊ぶ明るい社会の形成

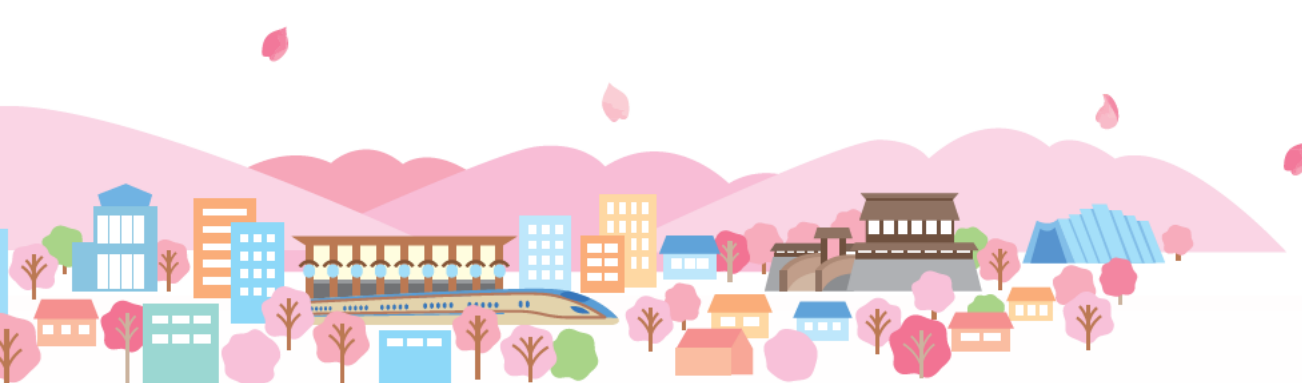
施策17▶ 人権尊重社会の実現

市民一人ひとりが、生涯にわたり自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、人権を尊重することをめざします。



施策18▶ 男女共同参画社会の実現

男女が社会の対等な構成員として個性と能力を十分に発揮し、自らの意思により社会のあらゆる分野で活躍する機会が確保されることをめざします。



政策1 環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成

施策19▶ 脱炭素社会*の構築

温室効果ガスの排出削減を意識した日常生活や事業活動が営まれ、排出量が年々減少するとともに、一定程度上昇する気温の影響など、気候の変化による被害を回避、軽減することをめざします。



施策20▶ 循環型社会*の実現

市民や事業者がごみの発生抑制に積極的に取り組み、排出量が年々減少していくことをめざします。



政策2 自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進

施策21▶ 豊かな自然環境の保全

豊かな自然環境や生物多様性が保たれ、自然と触れ合えることをめざします。



施策22▶ 良好で快適な環境の保全と創造

良好な生活環境が美しく保たれていることをめざします。



政策1 災害に強いまちづくりの推進

施策23▶ 防災・減災対策の推進

災害発生に備え、被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っていることをめざします。



施策24▶ 消防力の充実・強化及び火災予防

市民の防火意識を高め、消防・救急・救助体制の充実により市民の生命・財産が守られることをめざします。



政策 2 安心して暮らせる安全社会の構築

施策 25 ▶ 交通安全対策の推進

市民が交通事故の被害者・加害者になることなく、安全に安心して生活することをめざします。



施策 26 ▶ 防犯対策の推進

市民の防犯意識を高め、犯罪被害に遭うことなく、安全に安心して生活できることをめざします。



施策 27 ▶ 安全な消費生活の確保

関係団体や地域の関係者との強い連携により市民の消費生活における健全な環境が確保され、安全で安心な暮らしを送ることをめざします。



政策1 未来を切り拓く人材の育成と環境の整備

施策28▶ 乳幼児期から高等教育までの教育の充実

子どもが社会でたくましく生きていくために、主体的に探究したり、協働的に学んだりしながら、知・徳・体を一体的に身に付け、人間性豊かに成長することをめざします。



施策29▶ 子どもに応じた支援の充実

不登校やいじめに悩む子ども、様々な特性のある子ども、社会的援助を必要とする子どもなど、子どもに応じた適切な支援の下、関係機関等と連携し、一人ひとりに合わせて安心安全に学習に取り組めることをめざします。



施策30▶ 家庭・地域・学校の相互連携による教育力向上

家庭・地域・学校が相互連携により教育力を向上し、子どもの学びや育ちを支えることをめざします。



政策2 豊かな人生を送るための学習機会の提供

施策31▶ 生涯学習環境の充実

ライフステージ*に応じた学習情報や学びの機会が提供され、多くの市民が学びを実践していることをめざします。



施策32▶ 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進

あらゆる世代の人が市立公民館や市交流センターなどで地域を学び、地域づくりに活かしていくことをめざします。



政策3 魅力あふれる文化の創造と継承

施策33▶ 多彩な文化芸術の創造と活動支援

子ども、高齢者、障害者など、あらゆる人々が日常から気軽に文化芸術に触れ、常に活発な文化芸術活動が行われることをめざします。



施策34▶ 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進

有形・無形の歴史文化遺産が適切に保存・継承・活用され、魅力ある地域づくりにつながっていくことをめざします。



政策4 スポーツを軸としたまちづくりの推進

施策35▶ だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進

安全・安心で気軽にスポーツや運動に親しめる環境が整い、市民が自分に合ったスポーツや運動を楽しめることをめざします。



施策36▶ スポーツを通じた交流拡大の推進

多くの市民が市内のスポーツ施設でスポーツを観戦するとともに、スポーツを通じた交流人口が拡大し、地域の活性化が進むことをめざします。



政策5 国際交流・多文化共生の推進

施策37▶ 国際交流活動の推進

多くの市民が国際交流に関心を持ち、国際交流事業に参加し、活動に関わることをめざします。



施策38▶ 多文化共生の推進

多様性を認め合い、互いを尊重していること、また、文化や習慣などが異なる外国人にとっても、暮らしやすい環境が整っていることをめざします。



政策1 魅力を活かした観光の振興

施策39 ▶ 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進

豊富な観光資源を活かし、観光客でにぎわい観光消費額が増加していくことをめざします。



施策40 ▶ インバウンドの推進

外国人観光客の誘客に向けた効果的な情報発信を行うとともに、充実した受入環境の下で外国人観光客が快適に滞在することをめざします。



©善光寺



施策41 ▶ コンベンション*の誘致推進

多様なコンベンションが開催され、参加者でにぎわうことをめざします。



政策2 活力ある農林業の振興

施策42▶ 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進

農地が有効に利用され、専業農家のほか多様な担い手が農業に取り組むことをめざします。



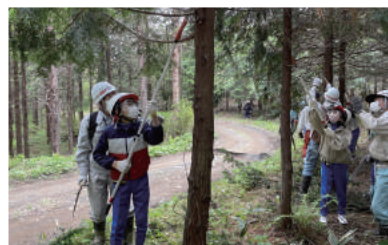
施策43▶ 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進

りんご、もも、ぶどうなどの高品質で安全・安心なおいしい農産物が生産され、高い評価を得ることをめざします。



施策44▶ 森林の保全と資源の活用促進

森林が守り育てられ、森林資源が有効に活用されることをめざします。



政策3 特色を活かした商工業の振興

施策45▶ 商工業の強化と環境整備の促進

持続可能で足腰の強い商業活動や工業生産が展開され、地域外からの利益が取り込まれていくことをめざします。



施策46▶ 地域の特性が光る商工業の推進

中心市街地、中山間地域などの地域ごとにある様々な特性を活かし、商工業に活気があり、まちがにぎわうとともに、本市の特長を活かした新製品・新技術が開発され、企業活動が活性化することをめざします。



施策47▶ 新たな活力につながる産業の創出

自然の循環と経済の発展を両立させる、長野らしい産業の創造に向け、創造性豊かな人材や企業が集積し、オープンイノベーション*や起業・創業などの動きが始まることをめざします。



政策4 安定した就労の促進

施策48▶ 就労の促進と多様な働き方の支援

企業の特長や求人に関する情報が容易に入手でき、働き方改革が推進されるなど多様な働き方が可能になることで、就労が促進されるとともに、様々な人が就労しやすい環境が整備されることをめざします。



施策49▶ 勤労者福祉の推進

中小企業の福利厚生や研修の機会が確保され、勤労者がいきいきと働けることをめざします。



就職活動に、
就職情報サイト
「おしごとながの」を
ご活用ください!

マイページ
登録
無料

おしごと
ながの
OSHIGOTO NAGANO

求人検索
企業情報
インターンシップ
募集

中学生・高校生
就職情報
社会人・求職者
求人検索

おしごとながの
https://oshigoto-nagano.jp/

お問い合わせ
024-224-7902

SNSでも情報発信中!



政策1 いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの推進

施策50▶ 地域の特性に応じた都市機能の充実

中心市街地や鉄道駅周辺など都市拠点となるべき地域における人口密度が維持され、市民生活へのサービスの提供可能な都市機能が集約し、居心地の良い空間が形成されることをめざします。



施策51▶ 暮らしを支える生活機能の維持

市民の暮らしを支える都市基盤や日常生活に必要な機能が維持されていることをめざします。



施策52▶ 多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりの推進

だれもが気軽にまちなかを移動でき、地域の魅力を活かした暮らしやすい住環境が整っていることをめざします。



施策53▶ 地域の特色を活かした景観の形成

豊かな自然環境と調和した景観や、地域固有の歴史・文化が感じられる景観が形成されていることをめざします。



政策2 拠点をつなぐネットワークの充実

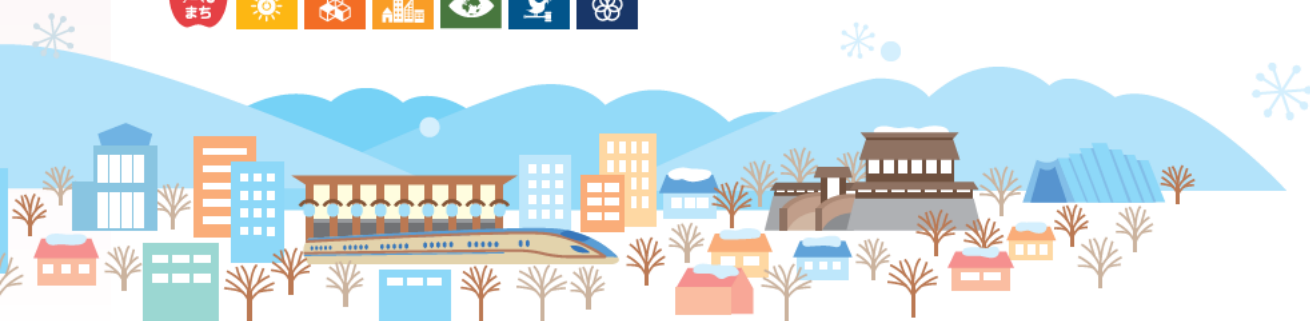
施策54▶ 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築

だれもが利用しやすい公共交通が構築され、多くの人々が利用していることをめざします。



施策55▶ 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備

自家用乗用車に過度に頼らず、中心市街地、観光地などの拠点や生活機能の拠点を移動できる交通ネットワークを形成します。



用語解説



p.4

施策の大綱

施す方策の根本的で本質的な内容のこと。

東京圏

p.5

法律等で明確に定義されているものではないが、一般的には東京都心から50～70kmの範囲内にある東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県の1都4県、あるいは東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県の1都3県を指す。

p.5

社会保障関係経費

市民の生活を保障する社会保障に関する経費のこと（医療・介護・福祉等の関係費用）。

p.7

行政経営資源

行政の運営に際し、必要なヒト・モノ・カネのこと。

多様な主体によるまちづくりの担い手

地域コミュニティ、市民公益活動団体、民間企業などのこと。

p.7

p.9

関係人口

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様にかかわる人々のこと。

インバウンド

訪日外国人旅行者のこと。

p.9

p.9

産学官金

産は企業（産業界）、学は大学等の学術研究機関、官は行政機関等、金は金融機関のこと。



SDGs

p.8

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。2015年の国連サミットで採択された国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17のゴールと、それを実現するための169のターゲットで構成されている。地球上の「誰一人取り残さない」と誓い、包括的な社会の実現をめざして、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むこととしている。

Society5.0

p.8

情報社会（Society4.0）に続く、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会課題の解決を両立する人間中心の社会をめざすもの。

地方中核都市

地方における都市圏または生活圏の核となる機能を備えた都市のこと。

p.12

脱炭素社会

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする社会のこと。

p.16

循環型社会

p.16

「ごみの量を減らす（リデュース）」、「繰り返し使う（リユース）」、「再び利用する（リサイクル）」といった行動により、天然資源の消費が抑えられ、環境への負荷が低減された社会のこと。

ライフステージ

人間の一生を乳幼児期、青少年期、成人期、高齢期などに分けたそれぞれの段階。

p.20

コンベンション

会議・集会・大会・展示会・見本市等、特定の目的で多数の人が集まること。付随して人・物・情報等の交流がある。

p.22

オープンイノベーション

新技術、新製品の開発に際し、組織の枠組みを越え、広く知識や技術を結集すること。

p.23



